

オリンピック・パラリンピック・ムーブメント推進校 実施報告書

【都道府県】 福岡県

【学校名】 福岡県立直方高等学校

【テーマ】 I II III IV V

- I オリンピズムの教育的価値
- II おもてなし精神とボランティア
- III パラリンピックと障害者スポーツ
- IV 日本文化と異文化・国際理解
- V スポーツを楽しむ心

【実践研究タイトル】

スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴
～オリンピックムーブメントとドーピング～

【実施学年、部、講座等】

第1学年 (男子133名・女子85名)

【目的・ねらい】

今回の実践の目的・ねらいは次の2点である。

- ・現代のスポーツは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしており、その代表的なものにオリンピックムーブメントがある。このオリンピック・ムーブメントは、オリンピック競技大会を通じて、人々の友好を深め世界の平和に貢献しようとするものであることを理解できるようにする。
- ・ドーピングは重大な健康被害を及ぼすだけでなく、フェアプレーの精神に反するなど、能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせることを理解できるようにする。

【種類】(当てはまるものに○)

各教科(保健体育)・道徳・外国語活動・総合的な学習の時間・特別活動

・教科以外での取組()

【実践内容等】

(実施内容)

〈ねらい〉 スポーツの価値「卓越 (Excellence) 友愛 (Friendship) 尊敬 (Respect)」を理解できるようにする。
浅田真央を題材に「自己を信じて最善を尽くすこと」や、北京オリンピックのリレーを題材に「仲間を信じて、さらに全豪オープンテニスを題材に、「他者を尊敬すること」の3要素はフェアプレーを構成する重要な要素であること。また、このことは一般の社会でも尊重される価値であることを理解できるようにする。

- ・ワークシート1枚目の質問に答える。

事例① (自己最高の演技) を見る。(ソチオリンピックフィギュアスケート競技日本代表 浅田選手)

発問① SPでの失敗を乗り越えて、フリーで最高の演技ができたのはなぜだろうか？

発問② 自分が日常生活でこのような場面に直面したらどう考え、どう行動しようと思うか？



授業の様子1

- ・ワークシートに考えを記入する。
- ・自己最高の演技（結果）の説明を聞く。

- ・事例②（チームで繋いだバトン ※TV番組）を見る。
（北京オリンピック陸上競技、男子4×100m。塚原、末続、高平、朝原選手）

発問① 4名の選手の個人タイムは、他の各国のタイムより劣っていた。なぜ、日本はメダルが取れたのだと思うか？

発問② 仲間を信じることで何かを成し遂げた経験はあるか？また、今後どのような場面で仲間を信じるが必要だと思うか？



授業の様子2

- ・ペアで話し合い意見を出し合う。
- ・ワークシートに考えを記入する。
- ・数名が発表する。



授業の様子3

- ・事例③（テニス全豪オープン ティム・スマイチェック×ラファエル・ナダル戦）を視聴し、対戦相手への敬意について考える。

※2015テニス全豪オープン ティム・スマイチェック×ラファエル・ナダル戦

第5セット、ナダルがファーストサーブを打とうとトスを上げた時、観客の一人が叫び声をあげ、結果、ナダルのサーブはロングとなった。その時に対戦相手であるスマイチェックはファーストサーブをやり直すべきだと主張した。試合には敗れたスマイチェックであったがナダルから尊敬を勝ち取った逸話の残るゲームである。

発問① スマイチェック選手の行ったことをどう思うか？

発問② スマイチェック選手はなぜやり直しを要求したのか？

発問③ もし自分がスマイチェック選手の立場ならどうするか？



授業の様子4

- ・ペアで話し合い意見を出し合う。
- ・ワークシートに記入する。
- ・数名が発表する。

<ねらい>ドーピングは、重大な健康被害を及ぼすだけではなく、フェアプレーの精神に反するなど、能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせることを理解できるようにする。

・事例④（JADAから講師を招聘しドーピングについて話を聞く。）

①ドーピングとは何か。

②ドーピングの影響

ア：身体への悪影響

イ：スポーツの価値への悪影響



授業の様子5

・ペアで話し合い意見を出し合う。

・ワークシートに記入する。

・数名が発表する。

・ワークシート（まとめ）を記入する。

・数名が発表する。



授業の様子6

(実践上の工夫点、留意点等)

・それぞれのねらいにふさわしい題材を選定する。（浅田真央や全豪オープンテニス等）

・より専門的な内容を学習できるように専門的知見をもった方を外部講師として招聘する。

(成果)

発表生徒の声

・「競技の様子を映像で見て、感動した。スポーツの価値を認識すればするほどドーピング行為の愚かさを感じた。」

・「運動が苦手で、することも見ることも嫌であったが、映像を見てスポーツのおもしろさを感じることができた。」

・「文化部に所属しているが、音楽などとスポーツは共通点があり、様々な人々の心に響かせることのできる凄さを感じた。」

・「ドーピングが及ぼす悪影響を理解することができた。私はそんな卑怯な行為は絶対行わない。」

・「ドーピング行為はスポーツの根底を覆す行為で絶対にしてはならない。スポーツをやっている私たちはスポーツの価値を広めなくてはならない。」 など

以上のことから次のような成果があったと考える。

- ねらいに合わせて映像を選択し、視聴させたことで、スポーツの価値や、魅力を体感させることができた。
- ドーピングが及ぼす悪影響、ドーピング行為の愚かさについて理解させることができた。
- スポーツへの興味関心を高めることにつながった。

【オリンピック・パラリンピック教育の実施に伴う課題点】

- 今回は、年度途中の実践であったため、体育理論の時間に2時間追加という形でトピック的に取り上げた面がある。今後は、体育理論のねらいに合わせて、年間計画に位置付け、計画的に扱っていく必要がある。